



俳句

玉井北男 選

冬深し雲の動きの無き水面
引揚は遠き日となり山眠る
懐手して朝刊に目を通す
画学生の絵を買ふ春のモンマルトル

川原利代
三谷福美
高橋和子
伊藤通友
青野義明
高塚靖樹
藤崎 泉
元山富子

川柳

山之内さち枝 選

鬼やらい私に菓食う鬼を打つ
黄水仙はにかむように八分咲き
夜勤明け孫手の平の覚書
どんな花咲くのだらうか孫つぼみ

河湊カズ子
白石佐智子
川原利代
曾我部美智子
榊原志都子
藤原真佐美
伊藤幸美
藤田むつ子

短歌

田坂 幸 選

予報には寒き過ぐとふ春立つ日上衣一枚ぬぎ
て仕事す
節分の大空青く晴れ渡り豆撒く声のさやかに
透る
子安大師の桜の芽吹く季に来て曾孫のため腹
帯頂く
いつの間に旅立ち行きし白鷺か葦の穂揺るる
入江淋しき
いくたびも父と訪ねし考古館母と二人で落日
を見る
雨止みて庭の白梅に薄日射し蕾の雫に春の日
映る
蠟梅の千枚通しのごとき針美しきもの棘多き
かな
石鉞は黄砂に霞みき庭には沈丁花の花ほころ
び初めぬ

内田加保留
矢野シヅエ
森田 薫
川原利代
小笠原澄恵
森田広司
高橋トシ子
藤田ウメノ

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先
〒793-8601 明屋敷164
市庁舎本館 総務課 広報情報係
TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち No.72 佐伯隊員からの報告



▲青年海外協力隊員 佐伯和彦さん

Alii!! (パラオ語で「こんにちは」)
私は、佐伯和彦と申します。家族が住んでいる西条市は、私にとってなじみのあるところです。
2010年1月から2年間の任期で、青年海外協力隊員としてパラオ共和国にある国立病院で理学療法士として活動しています。パラオは、赤道に近い国で熱帯性の気候です。パラオ人の年配の方々は戦時中に日本語の教育を受けていたため流暢な日本語を話す方が多く、日本語がそのままパラオ語として使われている言葉が非常に多いです。(例えば、電話、窓、大統領、大丈夫!など)
パラオはダイビングで有名で、日本からの旅行者も多く、旅行者のためのツアー会社やダイビングショップ関係で働く日本人も多い所です。
パラオでは私は、外来・入院患者さんのリハビリ、訪問リハビリ、現地スタッフへの勉強会などを行っています。パラオでは、糖尿病や高血圧の方が多く、そのため脳卒中や足の切断、腎臓不全、末梢神経障害などの患者さんがたくさんいます。それらの病気により失われた身体機能の回復や二次障害予防のためのリハビリをしています。
今、派遣から1年が過ぎ、やっと慣れてきた感じです。まだまだやりたいことがたくさんあります。新しいことに挑戦することやパラオの人たちがやってきたことを改善していくのは難しいことですが、日々、パラオ人スタッフと試行錯誤しながら活動に励んでいます。そんな私の励まされる一言は、患者さんやスタッフの“Mesulang (マスーラン)” (パラオ語：ありがとう) です。